

第66回 NHK杯全国高校放送コンテスト大阪大会【決勝】

朗読部門 審査結果及び講評

審査順	学校名	名前	得点 /500	講評
1	四天学	鈴木	2位	少し言葉が滑った。回あるがペースが一定で早い。少し急いだ感あり。クセ少し残る読み。ポーズの後の板鳥さんの入り方に、もう一工夫が欲しい。心が潰れる。一語一語丁寧に。自然な発声。つぶれる子音あり。やや速い。場面の転換よくできている。モノログ良い。情景描写にもう少し工夫があっても良いかも。情景描写はもう少し工夫があってもよい。間の取り方は単調に聞こえる。所々発音が雑。 課題→一気に読んでいる印象。間の工夫いる。「原辰徳」「スコアラー」の語をもう少し立てた方がよい。「欠かさずに」が潰れていた。落ち着いた表現。
2	四天	高橋	365	音を立て直しすぎているので、つながりが分かりにくい。地の文、急いでいる印象。スピード良い。文の途中よくうねる。情景が浮かびにくい。サ行注意。イントネーションが長文の時に乱れる。抽出箇所と声が合っている。マイクの使い方注意。前半はよく出ているが後半の声に芯が不足。いい声。明るい印象。潰れる子音あり。うねりあり。全体的に軽く仕上がっていて心地良い。緩急をつけようという心意気は伝わるが、切り方で、いまいち内容がわかりにくい。単語の発音が所々潰れて聞こえる。 課題→サ行注意。「それなら、お前」に違和感がありました。長い文を処理。最後のセリフの表現それで良いか？
3	箕面自	山本	347	音がはっきりしない(唇の動きが少ない?)。場面をもう少し丁寧に描写してほしい。音の幅狭い。読み方は滑らかだがやや単調に聞こえる。読みが、文末が同じ調子なので単調に聞こえる。「いや」の言い方違和感ある。ラストもう一工夫を。声が抜ける。「している」が「すている」に聞こえる。声がかぐもって一語一語が聞こえにくい。自然に話すように。作品世界を味わおう。音の幅狭い。口元の発音になっている。もっと声を前に出して。マイクやや近い? 文末の音が鼻に抜ける。「いや」の園子のセリフの意味がわからない。 課題→ある程度できている。セリフ工夫している。「はい、できますけど」に違和感あり。「なんだ、お前」のイントネーションおかしい。スコアラーのアクセント。
4	信愛	橋本	317	声を張りすぎて現実味が少なくなっている。「読んでいる」ので「話すように」。読み癖あり。情景が浮かびにくい。うねる。「羊」の発音注意。後半良い。急に強くなったりマイクも吹いたりしている箇所あり。演劇調。自然な発声を。うねる。プロミネンスの練習を。タイトル言えていない。丁寧に発音しようとしているが自然な息になっていない。うねりあり。文頭の音が高く出すぎているのが所々気になる。文の途中で単語が高くなっているのが気になる。 課題→強く読まなくても良いところを強く読みすぎ。「なんだお前」の声かけイントネーション。最後のセリフの表現。
5	桃山	今	335	アクセント気になるところあり。声はよく出ているが、間が取れていない。セリフ演技すぎ。意味の塊を捉えて読もう。お母さんの声と話し方が幼すぎる印象。ラ行。「細い」のアクセント、「あどけない」のアクセント。演劇調。高い技術があると思った。場面を考えたときに、セリフこんなに明るい? 不安が伝わらない。明るいきれいな発声。叫び声は本当に叫ぶ必要は無い。セリフと地の文の区別に工夫が見られた。 課題→巨人の監督としてはセリフの調子が軽過ぎるのでは。長い文の処理。セリフよく工夫している。所々セリフが演技がかっているのは気になった。
6	浪速	田倉	356	まとまりよく表現しているがこの場面でメリハリをどうつけるか。演技しすぎの感あり。地の文とセリフの切り替えを工夫して。誰の会話なのか、地の文なのか会話文なのか、わかりにくい。きれいだ場面が浮かびにくい。一語一語の表現を丁寧に。演技過剰になった。芝居ではない。切りすぎ。自然な日本語の域で。全体的に単調。発音は単語がつながって聞こえた。意味の塊は捉えている。 課題→地の文はもう少しすっきり読んで欲しい。「なんだ」～が聞き取りにくい。ラ行、舌を巻いている。「スコアラー」の立て方に注意。暗い場面ではない。場面を考える表現を。
7	桃山	岩澤	357	少し言葉が滑るところがある。地の文とセリフの読み分けはできたが「きれいだ」が浮いていた。地の文のイントネーション。読んでしまっている。セリフと地の文の切り替えようとしている。意味の塊を意識して。サ行。「チ」の音。ラストの一文に工夫が欲しい。地の文なのか会話文なのかわかりにくいところあり。静かなしっかりした発声を。早口で語の癒着が気になる。キーワードは丁寧に。区切りすぎ。自然な日本語の域で。うねりあり。単調。奥さんのセリフ、それでいい? 読み自体は流暢。所々、舌足らずに聞こえるのが残念。 課題→文末、下げ切れていないところあり。区切りすぎ。意味を考えて表現しよう。
8	四天	下崎	342	アクセント。地の文が気になる。イントネーションが自然でない。音の幅狭い。発生。少しクセの残る読み。8番のナンバーコール注意。イントネーション不自然。アクセント。マイクの使い方。地に足のついた発声を。音の癒着。音の輪郭がはっきりしていない。間の取り方注意。子音のつぶれあり。イントネーション注意。サ行が気になる。一つ一つの間が長いように感じた。 課題→イントネーション。不自然。「なんだお前」の表現。

第66回 NHK杯全国高校放送コンテスト大阪大会【決勝】

朗読部門 審査結果及び講評

審査順	学校名	名前	得点 /500	講評
9	市立南	河内	365	読み出しが速いことが多い。地の文とセリフ工夫して。うねり残る読み。その音の高低では意味がかからない。最初の「ピ」が聞こえにくい。声に張りが欲しい。音の癒着が気になる。表現しようという気持ちが伝わる。タイトル言えていない。「意志」聞こえない。やや慌てている様子。子音のつぶれあり。長い文の処理。区切れの音の伸び。声に表情がついていた。一語一語が丁寧。 課題→シャクリが多い。区切れの伸び。セリフの息。
10	四天	濱田	329	はっきりしない音がある。メリハリがなく一定の読み方。語尾伸びあり。情景が浮かびにくい。うねりある読み方。ナンバーコールもう少ししっかり。ダ行とラ行。自然な話すような読みを。うねりが気になる。語尾が伸びる。単調。タイトル言えていない。口元だけの発声。声を前に出して。区切りの音の伸び。子音のつぶれあり。うねりあり。マイク近い。声、よく響いている。後半の読み方が荒くなった。情景描写が少し単調なように感じた。課題→「12月」のアクセント。要工夫。「なんだ、お前」がどういう意味で言っているのか明確に。マイク吹き。音の伸び。
11	箕面自	溝口	352	発音が飛んだところがある。無声化が不完全。メリハリをつけにくい抽出部分。文末、不自然に堅い。うねる。スピードを変えようとしているがもっと工夫して良い。トーン同じように聞こえる。最初の文章は「読んでいる」感じ。後半、それほど暗くしすぎなくても良い。発声不明瞭のところあり。発声法に工夫を。伝える気持ちを持ってほしい。一語一語を丁寧に。少し早い。音が癒着する。口元の発音。区切りすぎ。子音のつぶれ多い。「父」の発音。場面よく表現して。話すように読めていた。後半少し単調に聞こえた。 課題→早い。間を工夫しようとしているがスピード速く聞こえる。セリフで雰囲気伝わる。表現良い。地の文、慌てている。
12	帝塚山	奥田	345	少し言葉が滑るところあり。ズリ上がるイントネーション。情景が浮かびにくい。読んでしまっている。ナンバーコールきれい。ダ行。ラ行。速いです。語尾が少し伸びるのが気になる。少し早い。単調。サ行注意。「聞く」などの発音。やや慌てている印象。もっとじっくり表現して。子音のつぶれあり。音の輪郭出ていない。緩急はしっかりついていた。クセのない読み。 課題→課題時の分とセリフも工夫しよう。「なんだ、おまえ」に違和感。最後のセリフにもう一工夫を。区切りの音の伸び。区切り方。最後のセリフの表現。
13	四天	吉田	352	少し発音が甘いが、表現はある程度できていた。イントネーション。癖が残るので惜しい。後半もっと癖が出た。前半は音の表現に少し演技入りすぎ。語尾の抜けが気になる。「食べて」のプロミネンス注意。明るい発声。うねりあり。子音のつぶれあり。セリフのイントネーション。うねりもなく自然な読み。間の取り方うまい。課題→速い。表現の工夫いる。会話文に違和感あり。セリフ速い。全体に慌てている様子。「透析」を強く言わなくても良いのでは？
14	堺西	北野	354	メリハリのつけにくい抽出部分。不必要な強調をなくし、すっきり読む部分も欲しい。アクセントなど基本をもう少し練習するともっと良い。自然に近く読めている。スピードは工夫するともっと良い。高低差をつけよう。「のぞいた」のアクセント。発声法を工夫しよう。アクセント注意。マイク使い。口元で発声発音している。うねりあり。鼻に抜ける声。文末まで声が出ていない。子音、流れている。自然な発生。流暢だがやや単調。 課題→会話文と地の文の重さが同じすぎ。発音発声。セリフの域。
15	箕面自	中村	3位	よく読めているが自分の出しやすい声で歌いあげる印象。もう少し自然にするともっと良い。文末苦しうなところあり。地の文。発声が上手。やや演技過剰。浮ついた表現になっている。鼻に抜ける発声。場面としてその表現は良いか？ 地の文の読みに工夫あり。 課題→工夫している。地の文に不自然なところあり。ラストの一文いい感じ。落ち着いた色味。長い文の処理。セリフ良い。
16	市立南	小寺	入選	感情の表現が、嬉しいか嬉しくないかのどちらかしかなく、幅が少ない。変化工夫しようとしている。意味を捉えている。地の文の文末ちょっと不自然。しっかり発声できているがもう少し自然にしても良いかな？ 朗読らしい朗読。子音、流れている。変化工夫しようとしている。意味を捉えている。地の文の文末ちょっと不自然。しっかり発声できているがもう少し自然にでも良いかな。文のまとまりをよくつかんでいる。朗読らしい朗読。明るい発声。音の伸び。作業。 課題→セリフ工夫いる。文末落ち着いた読み。最後のセリフ。

第66回 NHK杯全国高校放送コンテスト大阪大会【決勝】
朗読部門 審査結果及び講評

審査順	学校名	名前	得点 /500	講評
17	信愛	大谷	347	イントネーションが話すのとは少し違う。地の文うねる。会話文、いい雰囲気。口の中が詰まっている。全体、少しうねる。風景をもう少し思い浮かべよう。子音のブレ、うねりあり。文末、暗く響く。途中うねりが気になった。発声はできている。セリフ少し演技調。 課題→表現工夫をもう少し。会話文違和感ある。最後のセリフ、声かけになっていない。うねり。最後のセリフの意味。
18	浪速	佐川	6位	マイク、吹いてしまった。文頭の声が大きく文末が小さい。声の幅もと取れる。後半に行くにつれて文頭が少しずつ下がってきた。古文だが、意味が伝わる読みになっていた。力強い声。あと少し、話すように自然に。文末聞こえない。演技過剰。間の取り方に工夫が必要。単調になっている。発音良い。 課題→工夫している。イントネーション。課題文の研究をあと少し。演技過剰。文末消える。原監督のセリフやり過ぎ。
19	箕面自	後藤	入選	少し喉に声がかかっている。速く感じる。情景を感じる間もなく次に行ってしまう。高低差もう少しつけたほうがいい。後半の文、誰に対しての言葉なのか伝わりにくい。抽出箇所、ここで良いか？ 時々アクセントが気になる。落ち着いた読み。「きれいだ」はどうか？ 区切り方にもっと工夫が欲しい。セリフ良い。プロミネンス等はしっかり考えられている。 課題→声の幅出てきた。雰囲気出ている。良い。セリフ良い。地の文慌てている印象。「おまえ」がつぶれている。
20	四天	井野	346	助詞の強いところなど幼い印象がある。うねり残る読み。ナンバーコールよかった。「ダイヤモンドダスト」の場面良い場面なのでもう工夫欲しい。音の癒着が気になる。うねる。キーワードははっきりと。うねりあり。自然な日本語のイントネーションで表現しよう。間の取り方、テンポに工夫が欲しい。単語の発音、所々舌足らずになっている。もう少し丁寧に発声してほしい。最後セリフと地の文の区切りが分かりにくかった。 課題→意味の塊でとらえて。長文の時、不自然な立て方になっている。最初のセリフが、「不意に」声をかけられるていない。地の文、慌てている様子。最後の部分、セリフと地の文の区切りが分かりにくかった。
21	仰星	武村	入選	無声化が足りないところがある。メリハリが付けられた。発声少し癖が残る読み。声と場面が合っている。ラスト一文にもうひと工夫を。表現しようとする工夫が伝わる。場面そんなに重たい？ 鼻に抜ける発声。和音のセリフそれでいい？ 発声は自然にできている。自分の原稿と、決勝の課題の読みの調子が同じように感じた。 課題→セリフに工夫を感じる。「なんだ、おまえ」が不意の声かけになっていない。最後のセリフ。
22	四天	濱下	1位	よく読めたが、セリフ以外はあまり感情を入れなくてほしい。表現工夫している。全体トーン同じ。おとなしめで単調に聞こえる。間の取り方に工夫があって良い。場面浮かぶ。間の取り方で表現しようとする工夫が見られた。表現力あり。セリフの表現良い。丁寧に表現している。間の取り方がうまい。 課題→セリフに工夫がいる。せりふに工夫を感じる。地の文、音が流れ気味。
23	帝塚山	和田	369	やや一本調子。間の表現の工夫いる。単調に聞こえる。最初のいくつかの文章が単調になるので注意。ラストの1番工夫が欲しい。自然な読み方ができている。うねりが気になる。文末の「が」気になる。口元の発音。マイク近い。冒頭やや単調。読み自体は流暢。 課題→意味を捉えて。地の文とセリフの工夫して。ラストの一文、もう少し説得力が欲しい。子音、流れている。単調。
24	清水谷	安平	355	声がよく出ている。工夫している。スピードコントロールの工夫欲しい。クリアでない音あり。高低差をつけよう。ラスト一文、もう工夫。音が癒着する。音の処理に注意。少し演劇的。演技過剰。この場面は、こんなに重たい？ 場面抽出、工夫しよう。感情移入は伝わるが、情景描写にまで入れると不自然に聞こえる。文末が少し上がり調子。 課題→表現の工夫必要。三井の答え方に違和感。「なんだ、おまえ」が不意の声かけになっていない。演技過剰。

第66回 NHK杯全国高校放送コンテスト大阪大会【決勝】

朗読部門 審査結果及び講評

審査順	学校名	名前	得点 /500	講評
25	大市立	殿川	4位	スピードが速い。ついていけない。ゆっくりすると良くなるのでは。前半、特に速い。読み、自然に近づいている。地の文とセリフの区別に工夫している。セリフの雰囲気が出ている。速い。地の文の読み方が綺麗。方言もよく研究している。セリフ表現力ある。子音、流れるところあり。単語がつながって聞こえたところがあった。課題→文末、下がっている。落ち着いた地の文。やや速いか。
26	プール	富田	343	クセがない自然な読み。「セリフ」とそれ以外の差が少なくメリハリがない。間の取り方工夫しよう。単調に聞こえる。音の癒着。アクセント注意。口元の発音になっている。子音がつぶれかかっている。自然な話し言葉の息が心がけて。課題→長文の強弱高低に乱れが見える。うねり気になる。
27	四天	水野	364	「暗く」のアクセント、それでいい？ 鼻濁音足りないが、それ以外は読めている。文の最後まで同じスピードなので工夫欲しい。丁寧すぎる。うねり残る。ナンバーコール良い。ラストの一文の表現にもう工夫を。アクセント注意。表現しようという工夫が見られる。マイク近いか。声をもっと前に出す。長い分の処理。間の取り方工夫はしようとしているのは伝わる。文の途中でズリ上がったところがあり少し聞きづらかった。課題→色をつけすぎたか。セリフと地の文。間の工夫欲しい。長文が速く感じる。ラストの一文、ちょっと軽すぎるように思う。最後のセリフ綺麗だが、それでいい？ 地の文慌てている様子。
28	浪速	足立	349	間を取れている。音の幅と表現の幅が狭い。情景をしっかり伝えて。間の工夫している。さらさら行っている感あり。頭の音からしっかり出して欲しいところあり。高低差をつけよう。ラスト終わり方にもう工夫を。一語一語を大切に。間の取り方を少し研究して。音が滑り気味。タイトル言えていない。文末が潰れてしまっている。特に文末の低音が苦しそう。慌てている様子。この場面はそんなに暗い？ 全体的にテンポが一定なのが気になった。課題→三井の答え方に不自然さがある。う行。セリフ暗い。地の文慌てすぎている。
29	市立南	坂田	5位	別人物の読み方をうまくできると良い。音の幅が狭い。間の工夫あればもっと良い。自然な読み。情景を捉えて読んでいる。ナンバーコール良い。「～ない」が強すぎ。ラストの一文、あと工夫欲しい。朗読の工夫が見られる。話すように読めている。落ち着いた読み。潰れている子音あり。長い文の処理をもっと工夫しても良い。意味の塊はつかんでいる。課題→雰囲気が出ている。セリフ。
30	四天	藤本	340	unnecessary間があった。やや単調。地の文とセリフ変化、工夫がいる。地の文がセリフのように聞こえる。ラストの一文。地の文をしっかり。マイク近い。口元の発音。うねりあり。潰れているシーンあり。セリフの力。セリフの間の、間の取り方ももう少し工夫しても良い。課題→「なんだ、おまえ」の「おまえ」に違和感。最初のセリフの表現。長い文の処理。内容をとらえて。
31	市立南	乾	354	長い文が読みきれしていない。発声。うねりあり。読み癖残る。表現に工夫がいる。場面が浮かぶ。ラスト一文に工夫が欲しい。声をしっかり出すように。声が抜けがち。語尾が伸びることがある。息が漏れる発声。区切れの音が伸びる。うねりあり。自然な日本語の息で読もう。発音、所々甘くなる。情景の読みはうまい。課題→ラストのセリフいい感じ。音の伸び。長い文の処理。
32	相愛	瀬畑	入選	いい声。地の文が低く出し辛そう。話すように読もう。イントネーション。音を工夫すると良い。ナンバーコール良い。う行、少し舌を巻いている。語尾が伸びることがある。文末の低い音、苦しそう。もっと自然な息で読もう。うねりあり。この場面、そんなに重い？ 発声、良い。場面を思い浮かべづらいテンポ。課題→2人の読み分けを工夫している。雰囲気が出ている。うねりあり。子音つぶれている。